



氏名	M・U
所属	農学部応用生物科学科
学年	1年
留学先	語学研修 (シェフィールド大学)
留学期間	2025/8/16~2025/9/7

留学レポート Study Abroad Report

はじめに

私がこの研修に参加することを決めたくっかけは、高校生の時に社会情勢の悪化のために、参加が決まっていたベラルーシへの派遣が中止になってしまったことでした。その時から、海外研修を諦めきれない気持ちがあり、この研修の情報を見つけた時は、すぐに参加を決めました。

イギリスの気候

イギリスは夏でもとても涼しく、基本は 15℃前後です。日によっては長袖にパーカーでも寒く感じる日が多くありますが、逆に急に 20℃近くに上がって歩いているとじわっと汗をかく日が 2 日ほどありました。湿度が低く、日本の蒸し暑さが感じられないので、とても過ごしやすい気候でした。

授業について

授業は、午前中に 9:30-11:00 と 11:30-13:00 の 2 コマが月曜日から金曜日まであります。午後の授業は 14:00-15:30 で、月曜日と木曜日には Option class (選択授業) があり、火曜日には水曜日の午後にあるオンライン授業の内容に関する事前授業、水曜日にオンライン授業 (この授業は 14:00-15:00) があります。金曜日は午後の授業はありません。

登校初日にあるテストを受けて、自分のレベルに応じた授業を受けられるので、授業についていけない心配をする必要はないです。クラスによって授業の進め方は違いますが、私のクラスはテキストに沿って授業を進める形でした。クラスは 11 人程度の少人数で、いろんな地方や国から来ているので、休み時間もそれぞれの出身地についてたくさんお話しして、すぐに仲良くなることができました。

自由時間について

平日の授業終わりには、近くのカフェや観光地に行ったり、シェフィールド大学で日本について学んでいる生徒の方々と交流したりしました。イギリスにしかないカフェがあったり、日本にあるチェーン店でもイギリス限定のメニューがあったりして、カフェに行くだけでもイギリスを感じられます！他にも、同じキッチンを共有するメンバーとスーパーに行って食材を買ったり、お土産を買ったりしました。

休日には、学校がバスを出してくれる日帰り旅行に行ったり、自分たちで計画をたてて旅行をしたりしました。私の場合は、1 回目の土曜日にノッティンガム (日帰り旅行)、日曜日と月曜日 (この月曜日はバンクホリデーという祝日で授業はお休み) に 1 泊 2 日でエディンバラとヨークに行きました。ノッティンガムでは、刑務所をテーマにした博物館に行きました。私はハリーポッターが大好きなので、エディ

ンバラでは、ハリーポッターの聖地を巡ったり、人気のスコーンを食べたりして、ヨークではアフタヌーンティーを食べました。2 回目の休日には、金曜日の午後から移動を開始して、ロンドンとオックスフォードに行きました。ロンドンでは、たくさんの観光スポットを巡り、オックスフォードではハリーポッターのロケ地巡りをしました。イギリスは他にもたくさんの素敵な観光都市があるので、マンチェスターやリバプールに行っている人もいました。



スコティッシュブレックファスト



エディンバラ城のグレートホール



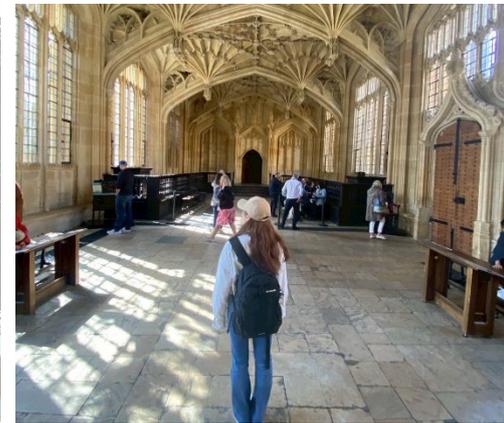
夕方のエディンバラ城



セントポール大聖堂



セントパンクラス駅



ボドリアン図書館

学んだこと

私はこの研修に参加することで、リスニングスキルが上達したように感じます。いくら英語に触れる環境であったとしても、3 週間で英語がペラペラ話せるようにはなりません。しかし、リスニングスキルについては1 週目より3 週目の方がはるかに上達したように感じました。授業で先生が話していることをスッと理解できるようになり、その中から聞き取った単語を真似することで、グループで話し合うときに使う接続語も自然と出てくるようになりました。さらに、私が大きな学びだと感じたのは、現地の人々が会話で使う英語と日本の教育現場で習う英語の表現や使用場面の違いを知れたことです。日本の教育現場で学ぶ英語の多くはフォーマルな会話の表現で、現地の人々はその多くを省略するイメージを持ちました。例えば「あなたはどう思う？」と意見を求めるとき、私は「How about you?」と聞くように習ってきました。しかし、現地の先生方の多くは「You?」と聞いていることが多かったのです。このような違いは、現地で3 週間過ごし、英語を母国語とする方々との交流を経験したからこそ分かる違いだと思います。イギリスの文化やイギリス人の人柄についても、現地で生活したことで、インターネットからでは知り得ない日本とのちょっとした違いまで知ることが出来ました。

終わりに

今回の研修では、英語を聞き取れて相手の言っていることが分かっていても、自分の言いたいことが上手く表現できない場面が多くありました。この経験を通して、私はもっと英語のボキャブラリーの数を増やし、自分

で考えや気持ちを表現できるようになってイギリスへ戻り、今回は難しくて諦めてしまった内容についても、現地の人と会話することでより深く文化交流をしたいと思いました。さらに、期間を問わず、いろんな国へ行くことでその国独自の文化や生活を知りたいと強く思いました。この研修への参加は、私にとって、日本から世界へ飛び出す壁を壊すきっかけになりました。参加を決めた自分に感謝したいと思っています。